

第Ⅰ編 総則 第11章 1日未満で完了する作業の積算 1) 1日未満で完了する作業の積算【頁数Ⅰ-124】

訂正前

第2章 付属施設	立入り防止柵 工	基礎ブロック、鋼管基礎	基	I-12-1)による	・基礎ブロック、鋼管基礎、金網・支柱(立入防止柵)、支柱(立入防止柵)、門扉に係る作業を一連の作業として判定する。
		金網・支柱(立入防止柵)	m	I-12-1)による	
		金網・支柱(立入防止柵)(材料費)	m	-	
		支柱(立入防止柵)	本	I-12-1)による	
		支柱(立入防止柵)(材料費)	本	-	
		門扉	基	I-12-1)による	
		門扉(材料費)	基	-	
		箱抜き	m	I-12-1)による	
	車止めポスト 設置工	車止めポスト	本	5	
	道路付属物設置工	距離標	枚	I-12-1)による	

訂正後

第2章 付属施設	立入り防止柵 工	基礎ブロック、鋼管基礎	基	I-12-1)による	・基礎ブロック、鋼管基礎、金網・支柱(立入防止柵)、支柱(立入防止柵)、門扉に係る作業を一連の作業として判定する。
		金網・支柱(立入防止柵)	m	I-12-1)による	
		金網・支柱(立入防止柵)(材料費)	m	-	
		支柱(立入防止柵)	本	I-12-1)による	
		支柱(立入防止柵)(材料費)	本	-	
		門扉	基	I-12-1)による	
		門扉(材料費)	基	-	
		箱抜き	m	I-12-1)による	
	車止めポスト 設置工	車止めポスト	本	7.3	
	道路付属物設置工	距離標	枚	I-12-1)による	

第Ⅱ編 共通工 第1章 土工 2)土工 【頁数Ⅱ-19】

訂正前

[illegible]

訂正後

[illegible]

第Ⅱ編 共通工 第3章 基礎工 4)ニューマチックケーソン工 【頁数Ⅱ-470】

訂正前

表 7.1 供用日数

設備等	供用日数	摘要
共通設備	(A+B+C+E) ×1.54	
排土設備	(A+B+E) ×1.54	
掘削設備（遠隔操作用設備を除く）	(A+B+E) ×1.54	
掘削設備（遠隔操作用設備）	(A+B+E') ×1.54	
艀装設備	(A+B+C) ×1.54	
外側足場	(A+B) ×1.54	
内側足場	(A1+B1) ×1.54	
安全設備	(A+B+C) ×1.54	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。
送気設備	(A+B+C+D) ×1.54	
救急設備	(A+B+C) ×1.54	
予備設備	(A+B+C) ×1.54	

ただし、A：ケーソン構築日数（艀装日数含む）

A1：ケーソン部構築日数（ピアケーソンのピア部を含まず）

B：掘削沈下日数

B1：ケーソン部掘削沈下日数（ピアケーソンのピア部を含まず）

C：中埋コンクリート打設・養生日数（支持力テスト含む）

D：定置式空気圧縮機組立・解体日数

E：天井走行式ショベル組立・解体日数

E'：遠隔操作設備組立・解体日数

訂正後

表 7.1 供用日数

設備等	供用日数	摘要
共通設備	(A+B+C+E) ×1.54	
排土設備	(A+B+E) ×1.54	
掘削設備（遠隔操作用設備を除く）	(A+B+E) ×1.54	
掘削設備（遠隔操作用設備）	(A+B+E') ×1.54	
艀装設備	(A+B+C+E) ×1.54	
外側足場	(A+B) ×1.54	
内側足場	(A1+B1) ×1.54	
安全設備	(A+B+C+E) ×1.54	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。
送気設備	(A+B+C+D+E) ×1.54	
救急設備	(A+B+C+E) ×1.54	
予備設備	(A+B+C+E) ×1.54	

ただし、A：ケーソン構築日数（艀装日数含む）

A1：ケーソン部構築日数（ピアケーソンのピア部を含まず）

B：掘削沈下日数

B1：ケーソン部掘削沈下日数（ピアケーソンのピア部を含まず）

C：中埋コンクリート打設・養生日数（支持力テスト含む）

D：定置式空気圧縮機組立・解体日数

E：天井走行式ショベル組立・解体日数

E'：遠隔操作設備組立・解体日数

第Ⅱ編 共通工 第3章 基礎工 4)ニューマチックケーソン工 【頁数Ⅱ-478】

訂正前

表 9.1-1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り)

名称	規格	単位	土砂ホッパ (ホッパ投入容量 10m3)		天井走行式 ショベル バケット容量 0.15m3		遠隔操作設備	
			組立	解体	組立	解体	組立	解体
土木一般世話役		人	1.7	0.5	2.4	2.4	—	—
潜かん世話役		人	—	—	—	—	1.8	1.3
とび工		人	5.7	2.8	—	—	—	—
溶接工		人	3.9	1.4	—	—	1.0	0.7
潜かん工		人	—	—	8.7	6.9	9.8	6.7
電工		人	0.4	0.2	1.1	1.1	10.0	3.3
特殊作業員		人	—	—	—	—	1.9	—
普通作業員		人	0.7	0.4	—	—	7.8	7.2
ラフテレーンク レーン運転	〔油圧伸縮ジブ型排 出ガス対策型(2014 年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	日	1.9	1.2	—	—	—	—
クローラクレーン 燃料	〔油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排 出ガス対策型 (2014 年規制)〕 最大吊上能力 70t 吊	L	—	—	412	412	180	69
諸雑费率		%	10		23		7	

名称	規格	単位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m3/min)		クーリングタワー設備 (冷却トン数 40～60RT)		ホスピタルロック	
			組立 7.7 日	解体 5.5 日	組立	解体	組立	解体
土木一般世話役		人	3.6	2.2	—	—	1.1	1.1
とび工		人	7.7	3.3	—	—	3.3	1.1
溶接工		人	15.4	5.5	1.1	0.5	4.4	1.2
電工		人	3.3	1.1	—	—	—	—
普通作業員		人	12.1	5.5	0.8	0.3	3.6	2.2
コンクリート		m3	12	—	—	—	—	—
ラフテレーンク レーン運転	〔油圧伸縮ジブ型排 出ガス対策型(2014 年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	日	2.5	1.2	0.37	0.25	1.2	1.2
クローラクレーン 燃料	〔油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排 出ガス対策型 (2014 年規制)〕 最大吊上能力 70t 吊	L	—	—	—	—	—	—
諸雑费率		%	6		24		18	

訂正後

表 9.1-1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り)

名称	規格	単位	土砂ホッパ (ホッパ投入容量 10m3)		天井走行式 ショベル バケット容量 0.15m3		遠隔操作設備	
			組立	解体	組立	解体	組立	解体
土木一般世話役		人	1.7	0.5	2.4	2.4	—	—
潜かん世話役		人	—	—	—	—	1.8	1.3
とび工		人	5.7	2.8	—	—	—	—
溶接工		人	3.9	1.4	—	—	1.0	0.7
潜かん工		人	—	—	8.7	6.9	9.8	6.8
電工		人	0.4	0.2	1.1	1.1	10.0	3.3
特殊作業員		人	—	—	—	—	1.9	—
普通作業員		人	0.7	0.4	—	—	7.8	7.2
ラフテレーンク レーン運転	〔油圧伸縮ジブ型排 出ガス対策型(2014 年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	日	1.9	1.2	—	—	—	—
クローラクレーン 燃料	〔油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排 出ガス対策型 (2014 年規制)〕 最大吊上能力 70t 吊	L	—	—	412	412	180	69
諸雑费率		%	10		23		7	

名称	規格	単位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m3/min)		クーリングタワー設備 (冷却トン数 40～60RT)		ホスピタルロック	
			組立 7.7 日	解体 5.5 日	組立	解体	組立	解体
土木一般世話役		人	3.6	2.2	—	—	1.1	1.1
とび工		人	7.7	3.3	—	—	3.3	1.1
溶接工		人	15.4	5.5	1.1	0.6	4.4	1.2
電工		人	3.3	1.1	—	—	—	—
普通作業員		人	12.1	5.5	0.8	0.3	3.6	2.2
コンクリート		m3	12	—	—	—	—	—
ラフテレーンク レーン運転	〔油圧伸縮ジブ型排 出ガス対策型(2014 年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	日	2.5	1.2	0.37	0.25	1.2	1.2
クローラクレーン 燃料	〔油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排 出ガス対策型 (2014 年規制)〕 最大吊上能力 70t 吊	L	—	—	—	—	—	—
諸雑费率		%	6		24		18	

訂正前

(6) 送気用設備運転一式当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人	1(人)×3(3方)	表 5.3 (数量×運転日数)
電工		〃	0.3 (人)	表 5.4 (数量×運転日数)
電力量 (空気圧縮機用)		kWh	86kWh (50HZ) 110kWh (60HZ)	数量×延運転時間
電力量 (クーリングタワー用)		〃	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間
電力量 (循環水ポンプ用)		〃	5.3kWh	〃
諸雑費		式	1	表 5.5
計				

訂正後

(6) 送気用設備運転一式当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人	1(人)×3(3方)	表 5.3 (数量×運転日数)
電工		〃	0.3 (人)	表 5.4 (数量×運転日数)
電力量 (空気圧縮機用)		kWh	86kWh (50HZ) 110kWh (60HZ)	数量×延運転時間
電力量 (クーリングタワー用)		〃	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間
電力量 (循環水ポンプ用)		〃	5.3kWh	〃
諸雑費		式	1	表 5.5
計				

(注) 1. 電工の作業時間帯は昼間を標準とする。
2. 電力量（空気圧縮機用）の数量については、使用する電気の周波数（Hz）に基づいて計上する。

第Ⅱ編 共通工 第3章 基礎工 4)ニューマチックケーソン工 【頁数Ⅱ-494】

訂正前

(15) 送気用設備（空気圧縮機）1 工事当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
空気圧縮機	吐出力 29/36m3/min 圧力 0.4MPa	台		表 4.2 (必要数量計上)
諸雑費		式	1	
計				

(16) 送気設備（その他）1 工事当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
圧縮空気清浄機	処理量 1,100m3/h 圧力 0.8MPa	台		表 4.2(必要数量計上)
クーリングタワー	冷却トン数 40～60RT	〃		〃 (〃)
循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程 30m	〃		〃 (〃)
レシーバタンク	容量 2.5m3 最大圧力 0.7～0.9MPa	〃		〃 (〃)
送気管	口径φ150mm 長さ 5.5m 最大圧力 1.0MPa	m		〃 (〃)
諸雑費		式	1	
計				

訂正後

(15) 送気用設備（空気圧縮機）1 工事当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
空気圧縮機	吐出量 (50/60Hz) 29/36m3/min 最大圧力 0.4MPa	台		表 4.2 (必要数量計上)
諸雑費		式	1	
計				

(16) 送気設備（その他）1 工事当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
圧縮空気清浄機	処理量 1,100m3/h 最大圧力 0.8MPa	台		表 4.2(必要数量計上)
クーリングタワー	冷却トン数 40～60RT	〃		〃 (〃)
循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程 30m	〃		〃 (〃)
レシーバタンク	容量 2.5m3 最大圧力 0.9MPa	〃		〃 (〃)
送気管	口径φ150mm 長さ 5.5m 最大圧力 1.0MPa	m		〃 (〃)
諸雑費		式	1	
計				

第Ⅱ編 共通工 第3章 基礎工 4)ニューマチックケーソン工 【頁数Ⅱ-496】

訂正前

(23) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
工事用水中モータポンプ	[普通型（潜水ポンプ）] 口径 φ100mm	機-14	
クローラクレーン (2の組) 掘削用	油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型（第3次 基準値）最大吊上能力 70t 吊	機-16	燃料消費量 →98 機械賃料数量 →1
コンクリートポンプ車	[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →79 機械損料数量 →1.00

訂正後

(23) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
工事用水中モータポンプ	[普通型（潜水ポンプ）] 口径 φ100mm	機-14	
クローラクレーン (2の組) 掘削用	[油圧駆動式ウインチ・ラチス ジブ型・排出ガス対策型（2014 年規制）]最大吊上能力 70t 吊	機-16	燃料消費量 →98 機械賃料数量 →1
コンクリートポンプ車	[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →79 機械損料数量 →1.00

第Ⅳ編 道路 第7章 橋梁工 9)PC橋架設工【頁数Ⅳ-661】

訂正前

(3) ネット防護工

主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。
ネット防護工費は次式による。

$$\text{ネット防護工費} = ((1.19 \times \alpha) + (1.19 \times \beta) X + 0.02y) \times A$$

α : 主要部材の基本料 (安全ネット網目 15mm 1枚)

β : 主要部材の月当り賃料 (安全ネット網目 15mm 1枚)

X : 防護部を供用している月数 (月)

y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)

A : 橋面積 (m²)

A = 全幅員 × 橋長

(注) y の前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。

訂正後

(3) ネット防護工

主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。
ネット防護工費は次式による。

$$\text{ネット防護工費} = ((1.19 \times \alpha) + (1.19 \times \beta) X + 0.02y) \times A$$

α : 主要部材の基本料 (安全ネット網目 15mm 1m²)

β : 主要部材の月当り賃料 (安全ネット網目 15mm 1m²)

X : 防護部を供用している月数 (月)

y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)

A : 橋面積 (m²)

A = 全幅員 × 橋長

(注) y の前数値は、橋りょう世話役及び橋りょう特殊工の換算値である。

第Ⅳ編 道路 第 7 章 橋梁工 9)PC橋架設工【頁数Ⅳ-667】

訂正前

(5) 重量台車による小運搬費 10 本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
橋りょう世話役		人		表 3.4 1×10 本×W/N
橋りょう特殊工		〃		〃 8×10 本×W/N
普通作業員		〃		〃 5×10 本×W/N
特殊作業員		〃		表 3.4 1×10 本×W/N (必要に応じ計上)
諸雑費		式	1	表 3.4
計				

(注) W : 桁 1 本当り質量 (t)
N : 1 日当り小運搬質量 (t/日)

訂正後

(5) 重量台車による小運搬費 10 本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
橋りょう世話役		人		表 3.4 1×10 本×W/N
橋りょう特殊工		〃		〃 8×10 本×W/N
普通作業員		〃		〃 3×10 本×W/N
特殊作業員		〃		表 3.4 1×10 本×W/N (必要に応じ計上)
諸雑費		式	1	表 3.4
計				

(注) W : 桁 1 本当り質量 (t)
N : 1 日当り小運搬質量 (t/日)